



共通KPIの公表について

当社は、2015年8月に金融界で最初に独自の行動規範である「フィデューシャリー宣言」(2021年6月にHC行動原則に改編)を策定公表し、その遵守状況を半期ごとに公表し、顧客本位の業務運営を徹底してまいりました。

[HC行動原則はこちら\(リンク\)](#)

2021年11月1日に公募投資信託「HCインカム～夢のたね」を設定しましたので、2018年に金融庁から公表された「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」(以下共通KPI)を踏まえ、実績を公表します。共通KPIの詳細は金融庁ホームページをご参照ください。

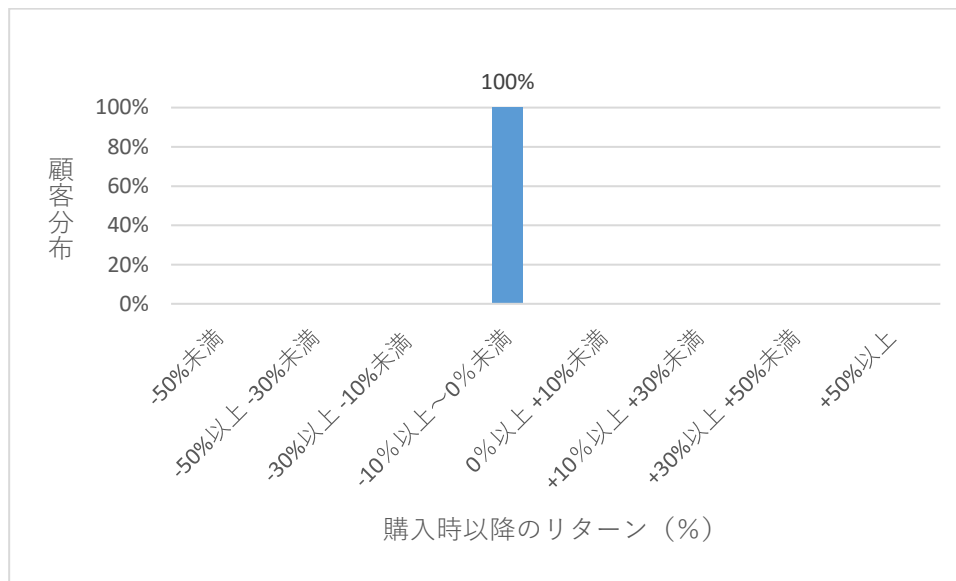
<https://www.fsa.go.jp/news/30/sonota/20180629-3/02.pdf>

設定後経過期間が1年半弱のため、報告できる内容に限りはありますが、ご参照頂ければ幸いです。

1) 投資信託の運用損益別顧客比率

基準日(2023年3月31日)に投資信託を保有しているお客様について、ご購入時以降のリターンを算出し、すべてのお客様を100%とした場合のリターン別の顧客分布を示したものです。

$$\text{購入時以降のリターン(％)} = \frac{\text{基準日の評価金額} + \text{累計分配金額} - \text{購入金額(手数料込)}}{\text{基準日の評価金額}}$$



当社が販売する「HCインカム～夢のたね」は長期的にインカムを獲得することを目的とし債券やローンを組み入れています。しかしながら、2021年11月に運用を開始した直後から、欧米各国が利上げ局面に入ったこと、および、ヘッジコストが上昇した影響から基準価額は下落し、このところ安定しつつあるものの、ファンドのリターンはマイナス推移となっております。結果として、顧客リターンは▲6.88%から▲0.24%の範囲に分布しています。引き続き、金利リスクを抑制しつつ、優良銘柄取得の機会をみて、規律ある投資行動をして、リターンの回復を目指します。

2) 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン

設定から5年以上経過した投資信託について、預り資産残高上位20銘柄について、コスト(販売手



夢が膨らむ資産形成

HCインカム～夢のたね

追加型投信／内外／資産複合

数料率の1/5と信託報酬率の合計値)とトータルリターン(過去5年間の基準価額の月次騰落率を年率換算)をプロットするものです。

当社は取扱い投資信託が「HCインカム～夢のたね」1銘柄であり、かつ設定後1年5か月しか経過していないため、該当ありません。

3) 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン

設定から5年以上経過した投資信託について、預り資産残高上位20銘柄について、リスク(過去5年間の基準価額の月次騰落率のバラツキ)とトータルリターン(同上)をプロットしたものです。

当社は取扱い投資信託が「HCインカム～夢のたね」1銘柄であり、かつ設定後1年5か月しか経過していないため、該当ありません。